

足立区議会公明党

Table with 2 columns: 原案 (Original) and 修正案 (Revised). Rows include 一般会計, 国民健康保険特別会計, 介護保険特別会計, 後期高齢者医療特別会計, 老人保健医療特別会計.

一般会計は増額となる一方、特別区民税等の減収が見込まれ、基金を取り崩しての財政運営も今後2、3年で底をつく等、区財政は厳しい舵取りが迫られる。そうした中でも、竹ノ塚駅付近連続立体交差事業は、区施工で取り組む強い姿勢を示し、平成23年度事業認可をめざしている。人の命と安全に直接かわる事業であり、引き続きリーダーシップの発揮を願う。



ouchiwaki Keiko 委員

自治会への支援。「産業と就労支援」における、中小企業融資事業、若者・高齢者の就労支援等。公会計導入における、フロアとストックの増減が連動した資産と負債の明確化による施設更新等。これらは、我が党が要望してきた重要施策である。

また、予算案には、子ども手当の支給事業予算が計上されている。公明党は児童手当の生みの親であり、財政の厳しい中、ここまで成長させた誇りがある。平成22年度の子ども手当の仕組みは、実質、児童手当の拡充事業そのものであると意見を申し述べる。大幅な歳入減と、社会保障費の増大を考えると、行財政の更なる見直し、包括予算制度など新たな仕組みづくりや、職員の発想の転換による意識改革を進めていただきたい。最後に、本委員会が我が党の委員から指摘された事項や提案要望については、平成22年度予算の執行やこれからの区政運営に反映されるよう要望する。

足立区議会自由民主党

Table with 2 columns: 原案 (Original) and 修正案 (Revised). Rows include 一般会計, 国民健康保険特別会計, 介護保険特別会計, 後期高齢者医療特別会計, 老人保健医療特別会計.

平成22年度予算案は、「事業の選択と集中」を行い、メリハリのある予算となったが、区税収入の減少等により、区政運営はさらに厳しさが増すものと想定される。今後は、受益者負担の適正化、職員の危機意識や経営感覚の徹底を強く要望する。事業内容は、保育定員の増、民間学童保育室の増設や「児童館特例事業」の拡大、小学校全校でのあだち放課後子ども教室の開設、警視庁との犯罪を減らす取り組み、まちの美化推進等の強化、燃やさないごみ等の資源化、雇用創出をめざす就労支援、緊急経営資金のあつせん等、区の取り組みに一定の評価をする。本委員会の中で、我が党委員から何点が指摘した。補助第253号線は地域住民の長年の願いで



Semuma Tsuyoshi 委員

あり、議会への十分な説明もなしに5年間先送りではなく、一日も早い着工・完成を強く要望する。生活保護受給世帯数は過去最高で異常な状態であり、区民の理解を得るため、適正化に向け一層の努力と工夫を期待する。公園、小・中学校等のトイレの新設・改修は、シンプルなものとし、経費節減に努めるよう要望する。また、住宅用太陽光発電システム設置助成、ペットボトル回収機の増設、垢川浄化等の環境対策、0歳児保育の移行による認可保育園1歳児から5歳児定

員の増、子どもの学力向上につながる学習環境の整備、教員の研修体制の充実、道徳教育等に公正な教科書の採択、青色灯パトロール車の台数増、千住大橋駅周辺地区住宅市街地総合整備事業でのURとの協議、補助第258号線の早期全面開通、西新井駅西口の 에스カレーター設置、西新井駅西口地区の医療体制の整備、綾瀬駅周辺自転車駐車場、国勢調査の円滑な実施、町会・自治会との連携強化等にも全力で取り組んで頂きたい。区は、指摘事項等を尊重し、その実現に努力されることを望むとともに、予算の執行においても、議会との信頼関係を損なうことのないよう強く求める。

予算委員会の討論(要旨)

深まる経済危機の中、中小企業の倒産・廃業が増え続け、区民の生活は悪化している。生活保護は、今年2月時点で1万5千世帯を超え、国保料滞り納世帯は28%に上り、高校の学費が払えず卒業できない事態も広がっている。子どもを保育園に入れて働かなければ生活できない家庭が増え、待機児も増える状況。しかし、平成22年度予算案は、待機児解消といながら、認可保育園は増やさず、住居を失う人が増えても、生活確保対策への姿勢も見せず、看護師不足解消にも背を向けた。学

一方、竹ノ塚駅東口公共駐車場は、から空きでもビル所有者に毎年4千万円が渡り、天空劇場と会議室は、使用にかかわらず総合商事に平成38年まで毎年9千800万円投入し続ける仕組みで、区民の納得は得られない。また、相続税対策で生じた土



Ogura Shuhei 委員

「子ども」「くらし」「まちづくり」に重点を置いた。その中で、553名の雇用を生み出す「緊急雇用対策事業」、緊急経済対策の目玉「中小企業融資事業」、少人数学級実施のための「副担任講師の配置」や「学力向上対策推進事業」、低炭素し、扶助費の伸びに歯止めがかけられない。

そして、区の認識に少なからずギャップを感じざるを得ない。地域経済を活性化して、区民生活を守り、くらし・生活再建の支援策を、柔軟かつスピーディに実施することを強く求める。最後に、次の指摘をする。「待機児童の解消」「雇用・生活総合相談窓口の充実」「高効率給湯器補助制度の導入」「不登校・ひきこもり対策の強化」「セーフティネットあだちの取り組みの拡充」「ゲースワーカーの緊急増員」「屋上エコガーデンの充実」「自転車駐車場の整備」「あだちシティブジョン維持経費削減等更なる歳出削減の努力」。以上、委員会での議論を十分に考慮し、区民と一番近い自治体、区民生活上の担い手としての予算執行を強く要望する。



Asahi Keiko 委員

また、2年間で8億円以上かけて購入。お金の使い方、優先順位が間違っている。我が党は、本来区長が率先してやるべき事項を予算修正案として提案した。内容は、認可保育園や学童保育室の増設、35人学級の実施、住宅喪失者への一時宿泊所の確保、看護師不足対策、特別養護老人ホームの増設、障がい者への支援、環境にやさしいペロタクシーの導入等。年間予算のわずか1%で、64項目の新規・拡充事業ができる。

なお、国民健康保険特別会計は、4月から一人平均6千223円と大幅な値上げ。後期高齢者医療特別会計は、廃止が4年先送りとなり、4月から4割が負担増。さらなる負担を押し付けるもので、到底認められない。

足立区議会民主党

Table with 2 columns: 原案 (Original) and 修正案 (Revised). Rows include 一般会計, 国民健康保険特別会計, 介護保険特別会計, 後期高齢者医療特別会計, 老人保健医療特別会計.

一般会計は増額となる一方、特別区民税等の減収が見込まれ、基金を取り崩しての財政運営も今後2、3年で底をつく等、区財政は厳しい舵取りが迫られる。そうした中でも、竹ノ塚駅付近連続立体交差事業は、区施工で取り組む強い姿勢を示し、平成23年度事業認可をめざしている。人の命と安全に直接かわる事業であり、引き続きリーダーシップの発揮を願う。

日本共産党足立区議団

Table with 2 columns: 原案 (Original) and 修正案 (Revised). Rows include 一般会計, 国民健康保険特別会計, 介護保険特別会計, 後期高齢者医療特別会計, 老人保健医療特別会計.

平成22年度予算案は、「事業の選択と集中」を行い、メリハリのある予算となったが、区税収入の減少等により、区政運営はさらに厳しさが増すものと想定される。今後は、受益者負担の適正化、職員の危機意識や経営感覚の徹底を強く要望する。事業内容は、保育定員の増、民間学童保育室の増設や「児童館特例事業」の拡大、小学校全校でのあだち放課後子ども教室の開設、警視庁との犯罪を減らす取り組み、まちの美化推進等の強化、燃やさないごみ等の資源化、雇用創出をめざす就労支援、緊急経営資金のあつせん等、区の取り組みに一定の評価をする。本委員会の中で、我が党委員から何点が指摘した。補助第253号線は地域住民の長年の願いで